

観光振興 若者の視点で

山陽小野田 山口理科大学生と市がWショップ

アマスク 25日、宇部市

辛山代表は「開店して約

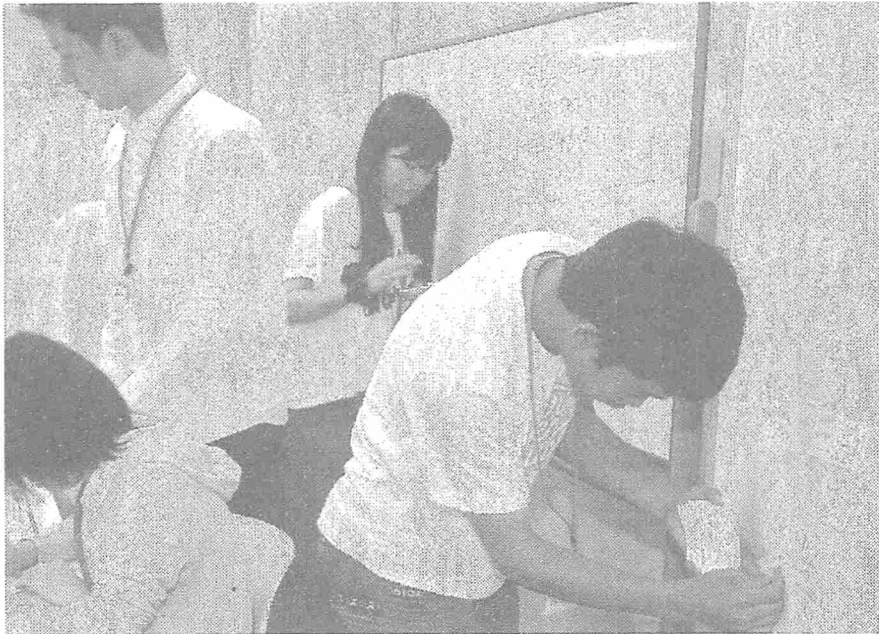
宇部市

の仕上げまでには長い時間

いる。

山陽小野田市大学通の山口東京理科大学で26日、同大の学生と市による初めての観光ワークショップが開かれた。7月中旬から同下旬にかけてもう一度開き、市の観光振興のために秋ごろをめどに策定する長期ビジョンの参考にしよう。

市内外出身の若い世代で



これまで訪れたことのある場所や施設を書いた付箋を地図に貼る学生たち 26日、山陽小野田市

ある学生の意見を聴き、市の規模や資源にふさわしい観光の在り方を考えるのが目的。4年6人、3年3人、1年2人の計11人が参加した。

学生は、これまでに訪れたことのある名所、観光地、商業施設などを思いつくままに付箋に書き、それぞれ

印象に残った理由、不満に思った点を加えて、大判の地図に貼っていった。最終回はリーダーの誘致策などについて意見を述べ合う。

同市は本年度、産業振興部に初めて「観光課」を新

設するなど、観光振興に本腰を入れている。ワークショップの開催はその一つ。参加者には今後の観光振興やまちづくりのサポートになってもらう。

山陽小野田市の印象について「自然は大分県より多く感じた。最近一番よく行くのはきららビーチ。市内には歴史的な場所も多く、これからは南部にも北部にももっと行ってみたい」と話した。

学校給食で意見交換も

美祢市 PTA母親委 やまぐち県酪工場見学

美祢市小中学校PTA連合会母親代表委員会（上本敬子会長）の会員ら約20人が26日、学校給食用の牛乳を製造している下関市菊川町のやまぐち県酪乳業本社工場を見学した。

や健康増進につながる「3次機能」が特に優れていることについて説明を受けた。

上本会長は「実際に自分たちの目で見てより安心できた。牛乳の3次機能について知り、子どもの成長にとってだけでなく、自分たちにも大切だと思った」と話した。



牛乳の生産工程について説明を受ける美祢市小中学校PTA連合会母親代表委員会の会員ら 26日、下関市菊川町

議員めぐ

美祢市議は26日、最追加説明が議員の発言糾。「坪井

に対して侮な発言をし品位を傷つして、政和一代表、4の懲罰動議員全員で構委員会を開た。

【宇部市】ようちん飾空港 7月12日(火) 宇部空港ル全館。ち0個を飾り、わせば山口08336。【山陽小】ぐるみの図 7月9日(木)の1